

キリスト教から見たナショナリズム —北方領土交渉を中心に

講師 佐藤 優

(作家・元外務省主任分析官
・同志社大学神学部客員教授)



写真提供 講談社 (撮影 森 清)

2018年10月14日にシンガポールで行われた日露首脳会談以後、北方領土交渉が急速に進展しています。日本政府は、従来の歯舞群島、色丹島、国後島、エトロフ島の四島返還から、歯舞群島と色丹島を日本に返還し、国後島と択捉島についてはロシアの主権下で日本に優遇措置を求めるという大胆な方針転換をしました。その背景には、米国でトランプ政権が誕生した後の米朝関係の改善、米中関係の緊張など、東アジア情勢の構造転換があります。キリスト教神学の視座をいかしながら、現下の国際情勢を立体的に読み解き、キリスト教徒として平和を創り出すことの重要性について考えます。

日時 2019年 **1月26日** (土) 13:30~17:30

場所 関西セミナーハウス 京都市左京区一乗寺竹ノ内町23番075-711-2115(代) 〈地図裏面〉

参加費 3,000円、学生 500円 (コーヒー込み)

*1月23日までに FAX(裏面フォーム)、電話、電子メール等でお申し込み下さい。

佐藤 優 さとう まさる

1960年東京都生まれ。1979年同志社大学神学部入学、1985年同大学院神学研究科修了、1985年外務省入省、英国陸軍語学学校、モスクワ国立大学で研修した後、在ソ連(その後ロシア)日本大使館に勤務。2002年、鈴木宗男事件に連座して東京地検特捜部により、逮捕、起訴。2009年に最高裁で執行猶予付有罪判決確定。2013年執行猶予期間満了。

著書は、『国家の畏』(新潮文庫)、『国家論』(NHKブックス)、『宗教改革の物語』(角川書店)、訳書はフロマートカ『人間への途上にある福音』(新教出版社)など多数。

● 事前に以下の参考文献を読んでいただくと、理解が一層深まります。

- * 松本俊一（佐藤優解説）
『日ソ国交回復秘録—北方領土交渉の真実』
（朝日新聞出版、2012年）
・Kindle版での入手が容易です。

◎スケジュール◎

13：30～15：00

講演・発題



15：00～15：30

コーヒーズブレイク

15：30～17：20

質疑とはなしあい

17：20～17：30

まとめとアンケート記入

修学院フォーラム これからのご案内

社 会 第6回 2019年1月13日（日）～14日（月・祝）

〈エネルギーを考える第7回〉

「地震国日本で原発は安全であり得るか？

なぜ再生エネルギーに踏み切れないのか？」

「日本の原発と地震・津波・火山」

講師：竹本 修三（京都大学名誉教授）

「ドイツのエネルギー転換の思想と実践」

講師：木村護朗クリストフ（上智大学外国語学部ドイツ語科教授）

福 祉 第2回 2019年2月16日（土）

「キリスト教と社会福祉

—他者の痛みへのコンパッション（共感共苦）をめぐって—」

講師：木原 活信（同志社大学社会学部教授）

【申込み・問合せ】

公益財団法人日本クリスチャン・アカデミー

関西セミナーハウス活動センター

〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23

<http://www.academy-kansai.org>

電話 075-711-2117

FAX 075-701-5256

電子メール office@academy-kansai.org

所長代行 榎本 栄次

担 当 都木（とき）



* 地下鉄烏丸線松ヶ崎駅、叡山電鉄修学院駅までワゴン車で送迎いたします。定員がありますので、ご希望の方は予めお知らせ下さい。地下鉄の最寄駅は松ヶ崎駅ですが、北山駅のほうがタクシーを拾いやすいです。

2018年度 修学院フォーラム「社会」第7回 参加申込書

（フリガナ）	
名 前	所 属
住 所 〒	
電話（ ）	FAX（ ）
電子メール：	@
通信欄：	